令和4年度第１回東京都地域職業能力開発促進協議会
2022年11月30日水曜日
学校法人先端教育機構　社会構想大学院大学　川山竜二

大学等におけるリカレント教育の現状

○ リカレント教育で「大学・大学院」で学ぶこと自体の認知度が低い。

- ハードルが高いと思われてしまう。

○ リカレント教育の企業側の後押しが感じられないと受講者は思っている。

- 他方で、学び直しをした人の調査によると何らかのキャリア形成に役立っていると回答している。

○ 一度学び直し（リカレント教育）のループに入ると、リカレント教育の重要性を理解し、自発的に学びを続けるようになる。

- リカレントの重要性を認知していない人は、情報を自ら取得しにいかない。
- リカレント教育／学び直しの重要性に気づいてもらうためにはどのようにすればよいのかが最大の課題（リカレント教育に関心のある人には啓蒙が届くが、関心のない人には届かない）。
- リカレント教育／能力開発を理解した人こそ、金銭的な問題にぶつかる。
- 教育訓練給付金の制限がある。

○ 大学側もリカレント教育を積極的に取り組んでいるのは一部である。

- 社会人の受講しやすさを考えると夜間や土曜日・日曜日になるが、大学教員や事務職員の負担は大きくなる。
- リカレント教育を実施しようとするところは少ない。

○ 大学でのリカレント教育の役割は、持続的な能力開発にあると考える。

- メタ認知／メタ知識。

学校法人 先端教育機構
社会構想大学院大学

実務教育研究科オンラインセミナー＆説明会

「リカレント教育」はじめの一歩
知識のフォロワーから知識のリーダーへ

令和4（2022）年7月24日 日曜日
社会構想大学院大学　実務教育研究科
学監　川山 竜二

リカレント教育とは

社会的投資

教科書的に言えば

スウェーデンの経済学者 G.Rehnが1968年に提唱

▼

当時スウェーデンの文部相 O.Palmeが国際会議で言及

> リカレント教育は、教育と他の社会活動、特に労働との相互作用により営まれるものであり、教育と、社会、経済、労働に関する諸政策との密接な連携が要請される

➡ 少なくとも、**単純な社会人の学び直し**ではない

リカレント教育は社会を変えることを目的として登場

© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

リカレント教育とは

リカレント教育は社会を変えることを目的として登場

リカレント教育は、教育と他の社会活動、特に**労働**との相互作用により営まれるものであり、教育と、社会、経済、労働に関する諸政策との密接な連携が要請される

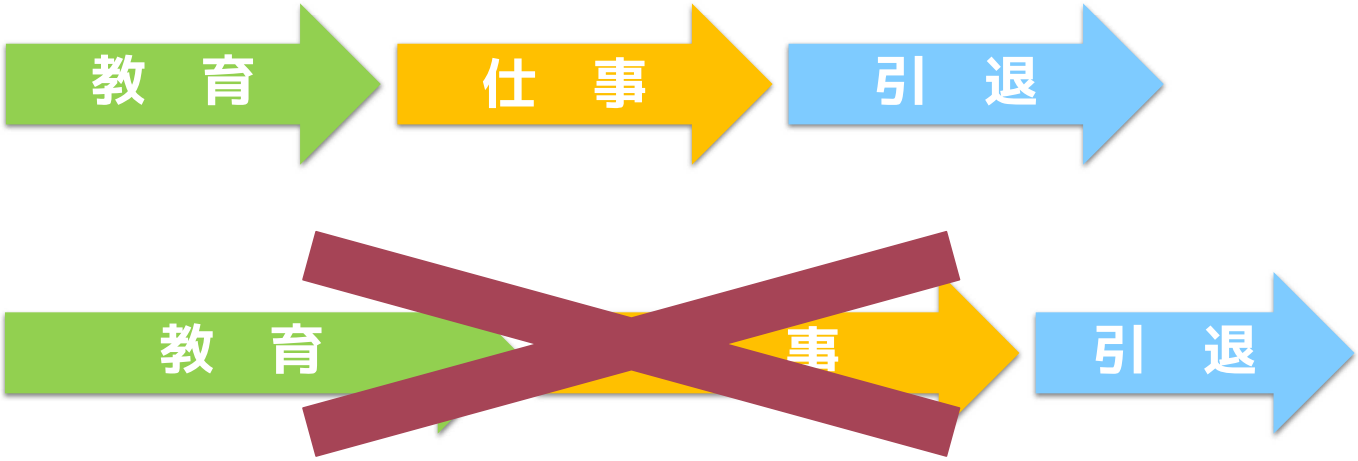
➡ 働くことを**「生活の糧」**を得るという視点だけでなく、**「生きがい」や社会との接点**

人々が、絶えず新しい状況に対応でき、自分の運命を自己の掌中に握る能力を強化するのに役立つように新しい知識と経験を集積する生涯にわたる過程の必要性

© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

リカレント教育と社会変革はワンセット

リカレント教育はフロント・エンドモデルの否定



個人が生涯びわたって継続的に学びが行われるようにすること

© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

Society 5.0とは

○ **第５期科学技術基本計画**；平成28（2016）年に登場

○ Society5.0とは；**超スマート社会**である

背　景

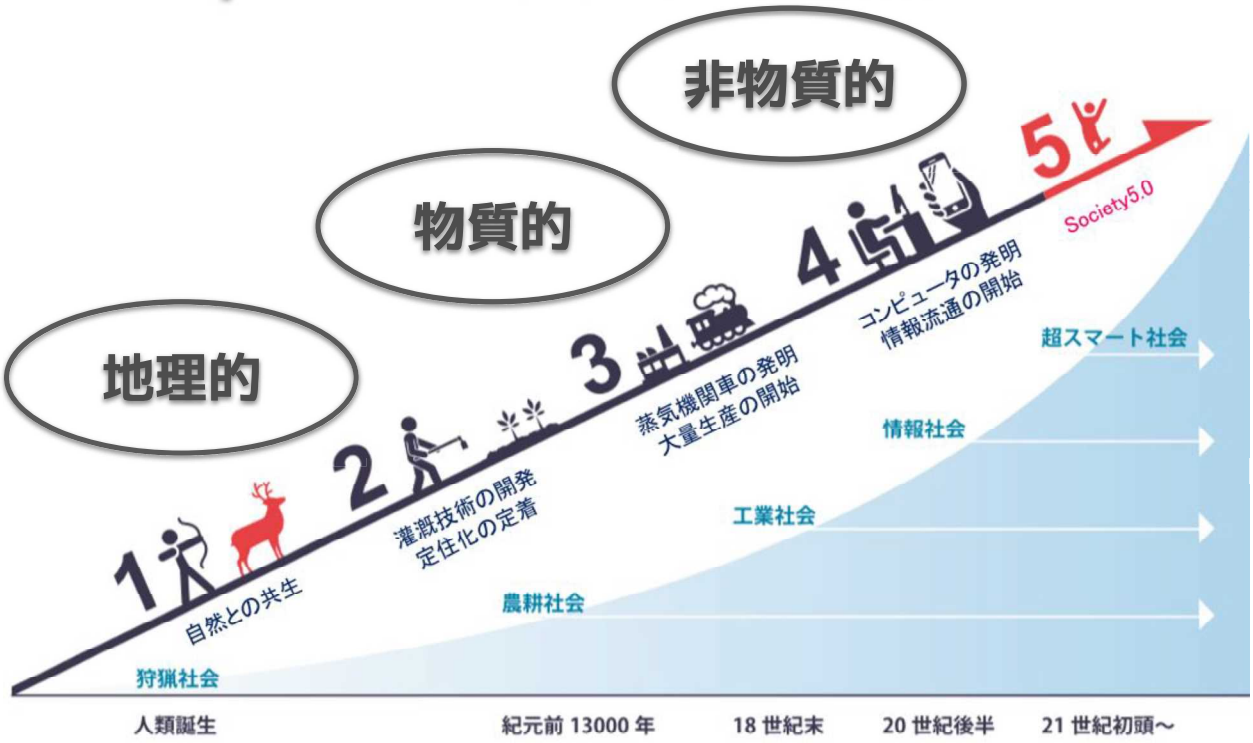
高齢社会・人口減少などの社会課題 ＞ **先端科学技術**の実装による解決と経済発展

文理両方の知

「必要なもの・サービスを必要な人に、必要なだけ提供し、社会の様々なニーズにきめ細かに対応でき、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、年齢、性別、地域、言語といった様々な違いを乗り越え、活き活きと快適に暮らすことのできる社会」
（p.11,第５期科学技術基本計画）

© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

Society 5.0とこれまでの社会像



出典＊https://www.keidanrensdgs.com/society-5-0-jp

© 2020 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

Society 5.0は俯瞰と創造が重要な社会

これまでの情報社会（Society 4.0）では知識や情報が共有されず、分野横断的な連携が不十分であるという問題がありました。

（内閣府「Society 5.0」）

知識・情報や情報技術を**俯瞰的**にとらえ、さまざまな知見を融合することが重要な社会

© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

Society 5.0は俯瞰と創造が重要な社会

社会の複雑化・高度化

社会が高度化・複雑化したことで、多様な知やスキルを要求されるようになった

▼

知識・情報の利活用

知識・情報を流通させるためのインフラ

知識・情報を整理するための知識

© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

Society 5.0は「知識社会」である

「狩猟採集社会 Society 1.0」、「農耕社会 Society 2.0」「工業社会 Society 3.0」、「情報社会 Society 4.0」のような考え方を**社会類型**という。 Giddens.,A. *Sociology 4th edition*

> 「われわれは今日、職業的専門家とその科学的方法が支配する「知識社会」あるいは「情報社会」のなかでくらしていることになる。」
>
> ピーター・バーグ（2004）『知識の社会史』：p.9

Exercise

情報社会と知識社会は、どのように異なるのだろう

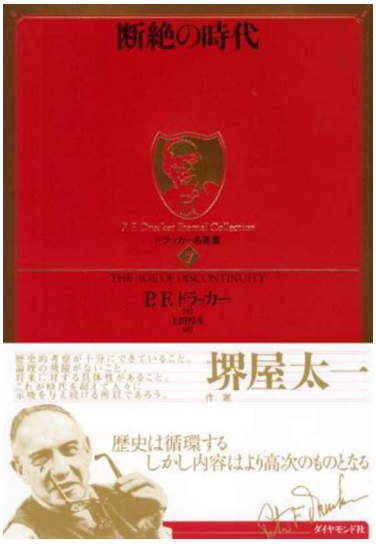
- 「情報」と「知識」との違いにも関係する議論である

富永健一（1988）「情報の氾濫と知識の貧困――『情報』社会は『知識』社会たりうるか」

© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

知識社会 Knowledge Society とは何か

新たに登場しつつあった社会を表す言葉



P・ドラッカー

知識社会となる
▼
人々が専門化する
▼
人がもっている知識を
組み合わせて成果をだす

マネジメント

© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

知識社会 Knowledge Society とは何か

新たに登場しつつあった社会を表す言葉

P・ドラッカー

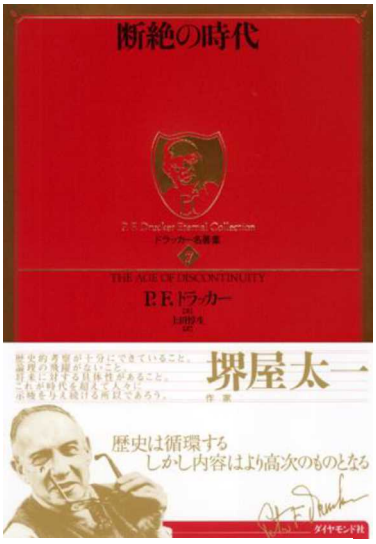
断絶の時代は1965年頃～2025年頃まで

1. 新しい産業の誕生
2. 世界が一つの経済圏に
3. 新しい多元社会の進展
4. 知識社会の進展

© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

知識社会 Knowledge Society とは何か

新たに登場しつつあった社会を表す言葉



P・ドラッカー

D・ベル

F・マッハルプ

© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

知識社会とは

Knowledge Society

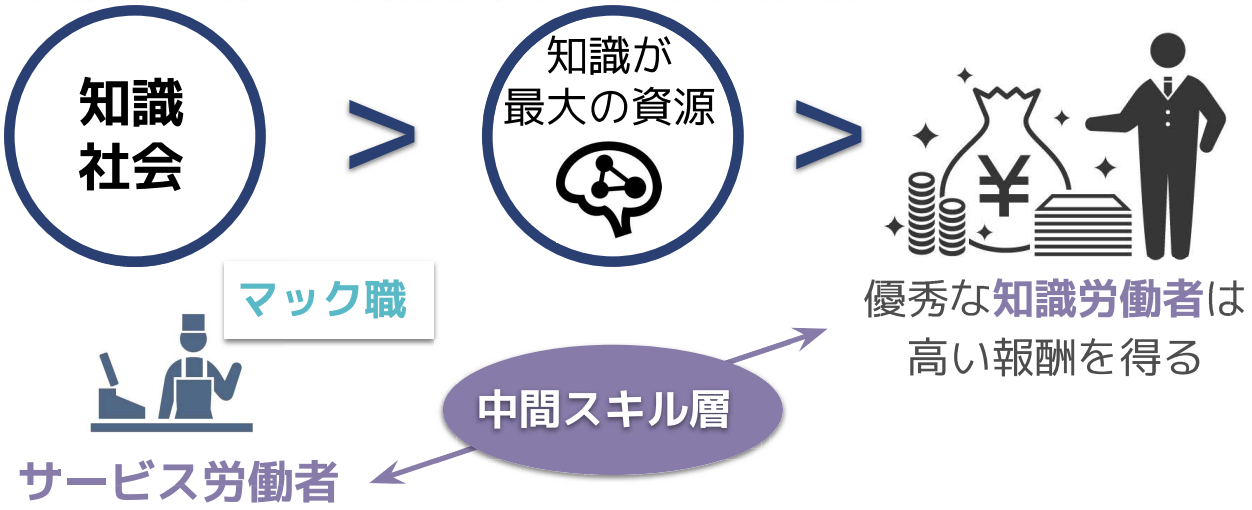
知識が重要な役割を果たす社会

物理的な資本や労働より相対的に知識の重要性が高まる

知識を得るためのコストが低下する

© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

知識・情報が社会の資源の中心となる



知識を持つ人と持たない人の格差は広がってゆく

ルーティンワークは減少し、専門性やマネジメント力が求められる仕事が増えるが、比較的低スキルなサービス職も増加する

宮本章史（2016）「社会保障/社会政策の新思考」

© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

知識・情報が社会の資源の中心となる

知識を持つ人と持たない人の格差は広がってゆく

ルーティンワークは減少し、専門性やマネジメント力が求められる仕事が増えるが、比較的低スキルなサービス職も増加する

優秀な**知識労働者**

高学歴でも職を失うリスク

高スキルと低スキルで職業を捉える？？

▼

ルーティンワークと非ルーティン

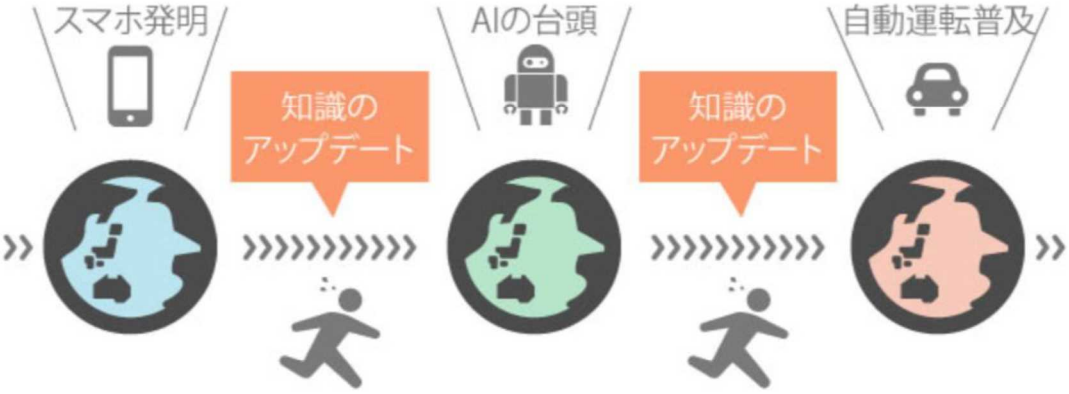
私たちは繰り返しのリスクにさらされている

いつも「自分が得意なことは何か」と自分自身に問いかける…

© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

大イノベーション時代

知識は、さかんにアップデートされる



知識はすぐに陳腐化してしまう

© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

知識社会は熾烈な競争社会

豊富な知識を吸収し活かす

▼

継続学習の必要性

医療業界の友人は、研修を終えて3年経たない医師と10年以上経った医師はかかるなと忠告する。研修を終えて3年以内では経験が足りないが、10年以上経つと何もかも忘れてしまうから。

ハーバード・ビジネス・レビュー（2003・12）「明日への指針（下）」

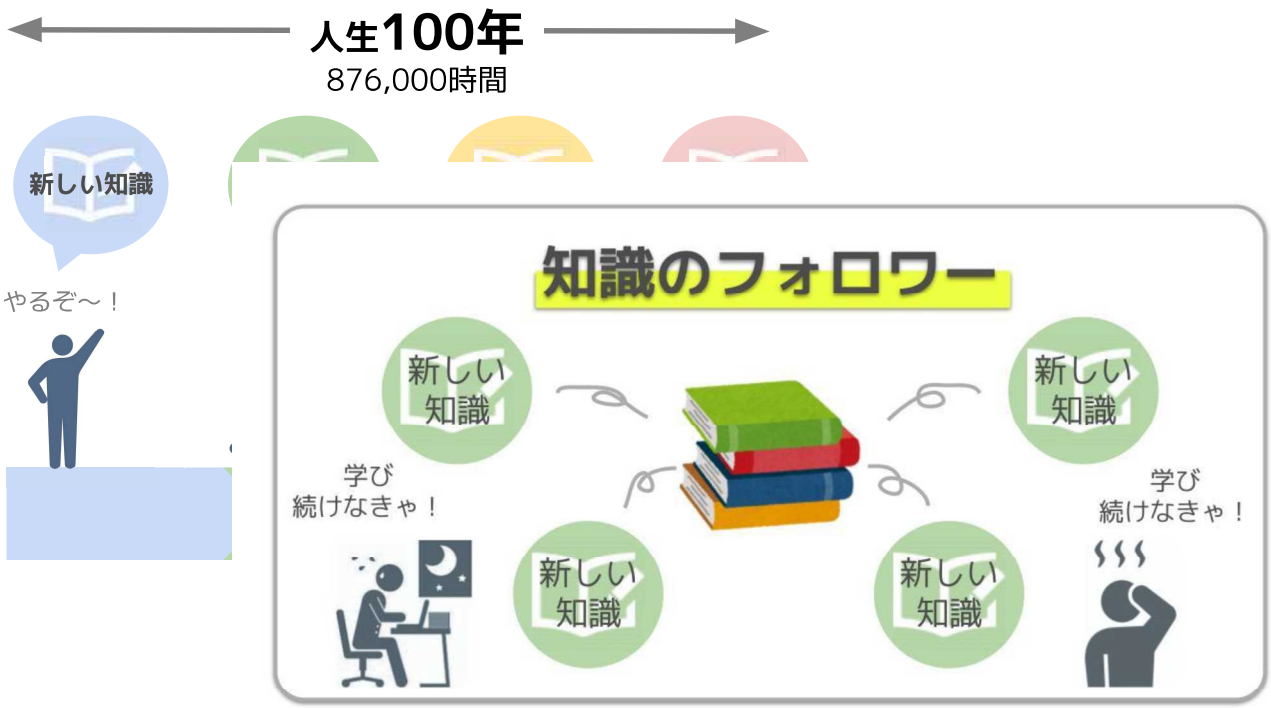
© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

人生100年時代は生涯学習社会へ

https://www.amazon.co.jp/LIFE-SHIFT-ライフ・シフト-リンダ-グラットン/dp/4492533877

© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

学び続けなければならないという態度



© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

知識のフォロワー体質からの脱却

© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

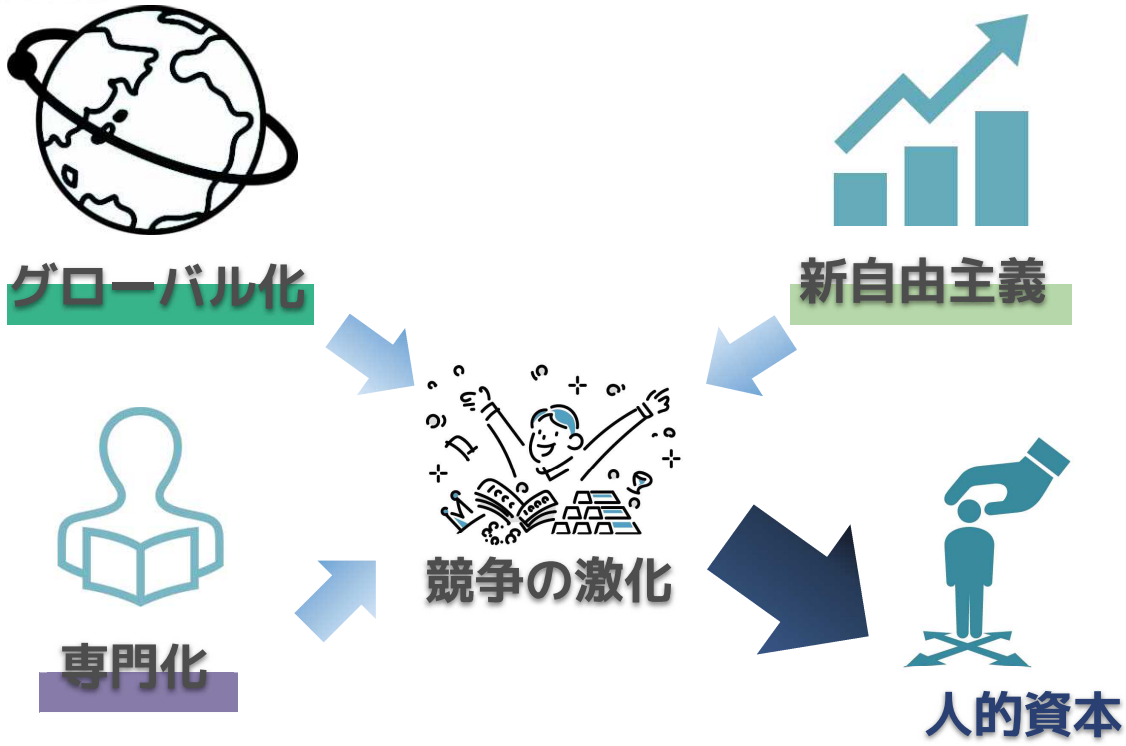
チェンジリーダーになる

教えることと学ぶことは共存できる

変化の先頭に立ち、自ら変化の担い手になれ

© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

社会情勢



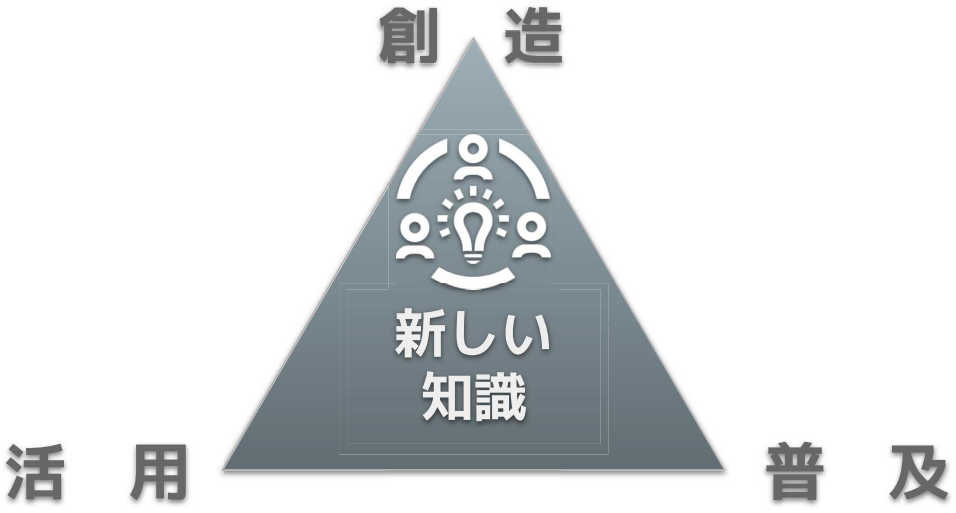
© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

知識＝いかに成果を生み出すのか

経験や理論なども使って「いかに成果を生み出すか」を考える力
情報・経験・理論、このすべてがそろってこそ、本当の「知識」である

© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

知のトライアングル



知識に価値を認めるだけでなく、

社会を支えるための知識も必要である

個々の人間が知識創造の体系のなかに組み込まれるシステム

© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

これから求められる知

© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

これから求められる知

最も必要とされているのは、諸々の専門分野の情報を成果に結びつけることのできる者であり、それを教えることのできる者である。

P・F・ドラッカー（1969）『断絶の時代』p.361

© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

メタ戦略で行け！

あやふやな未来社会へ踏み出すため
何を学ぶべきなのか？

© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

社会動向とリカレント教育

社会の複雑化・高度化（知識社会）

社会が複雑化・高度化したことで、
多様な知識やスキルが要求されるようになった。

- 知識の普及、陳腐
- 人生初期の学校教育は基礎教育

生涯を通して新しいスキルと専門知識を獲得し続けることが一般的に

リカレント教育

単純に何かを学べばよいのではなく、
社会的文脈やキャリアにあわせた戦略的学習が必要

© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

リカレント教育時代の学習戦略

自分が情熱を燃やせて、興味の持てる分野であること

- ❏ 自分が好きなことはなんだろうか？
- ❏ お金の問題も無視できないなぁ
  長い人生を送るためには、所得を確保することも重要だ。

① 経済的な価値と希少性があること
② 模倣困難であること
③ 機械によって代替されにくいこと

© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

リカレント教育時代の人生戦略

□ 学びの目的　□ その学びの幅や深さ　□ 学びの費用
□ 仕事との兼ね合い　□ 時間軸　□ 場所

▼

□ 得られる知識／スキル　□ 学位　□ 人脈（異なる立場）
□チェンジ・リーダー的資質が得られるか

© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

セミナー的知識とリカレント的知識

セミナー的知識

○ 即効性があり、すぐに役立つ
○ セミナー的知識は、それを使っていくので消えてなくなる

リカレント的知識

○ 即効性はなく、自分で一工夫をする必要がある
○ リカレント的知識は、その知識を元手にして新しい知識やスキルを増やしていく

経験を編み、知識を作り出せ

© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.

実務教育研究科オンラインセミナー＆説明会
不確実な時代に求められるリカレント教育：知識のフォロワーから知識のリーダーへ
「リカレント教育」はじめの一歩
2022年7月24日　第1版
社会構想大学院大学
川山 竜二
©KAWAYAMA Ryuji 2022 printed in Japan
本書の無断複製などは、著作権法上の例外をのぞき禁じられています。

© 2022 Ryuji KAWAYAMA. All Right Reserved.